

「演習（ロシア政治・外交）」の進め方

1. 演習とは

演習、つまりいわゆるゼミは、学生が主体となって行う授業です。レポート（ゼミ論）あるいは卒業論文を最終的に作成することが一つの目標ですが、その過程で、輪読（共通の文献を読む）および読書報告、レポートおよび卒業論文中間報告などを行っていきます。

この演習の参加者の共通関心事項は、ロシアもしくは旧ソ連地域の社会科学的テーマです。「政治・外交」だけでなく、経済、地理、歴史、宗教などのテーマに関心のある学生でも参加できます。

2. 演習の進め方

(1) レポート・論文の書き方（講義と演習）

(2) 課題文献についての報告（３年）

(3) 卒業論文のテーマ・目次（概要）・参考文献表の報告（４年）（５月３０日・６月６日）

(4) レポートのテーマ・目次（概要）・参考文献表の報告（３年）（７月４・１１日）

(5) 合宿（９月２４-２６日、伊豆の戸田を予定）

レポート（３年）あるいは卒業論文（４年）の中間報告

(6) 後期は、前期に続いて、輪読、文献報告、レポート・論文の中間報告を実施

3. 課題文献

3.1. 必読文献

横手慎二『現代ロシア政治入門』慶應義塾大学出版会、２００５年（必修）

3.2. 選択文献

3.2.1. 政治

下斗米伸夫『現代ロシア政治』東京大学出版会、１９９７年（選択：読む部分は一部でもよい）

3.2.2. 歴史

田中陽児・倉持俊一・和田春樹編『世界歴史大系 ロシア史 ３』山川出版社、１９９７年（選択：読む部分は一部でよい）

3.2.3. 外交

岩下昭裕『北方領土問題：４でも０でも、２でもなく』中公新書、２００５年（選択）

3.2.4. 経済

クライスティア・フリーランド『世紀の売却』新評論、２００５年（選択：読む部分は一部でよい）